

1013. 標数 p の準単純リー環

松島 巽三 (阪大學生)

任意の体 k 上、準単純リー環 L を考へます。

k の標数 0 のときは、 L は可換なラザル単純環、直和となり、しかもその *derivation* はすべて *inner* となることは、よく知られてアリスが標数 $p \neq 0$ の場合は、一般に単純環の直和とならず、又 *derivation* は *inner* であるに限らない。単純環のことがワカッタトシテモ、準単純環の構造は一般にわからず、*derivation algebra* の構造も複雑なことがありますが、 L の *ideal* が準単純である場合、割合物質になります。その場合も、準単純環が単純環から、どのようになつて行かぬか知らぬ見ることが出来ます。

§1. 体 k 上、Lie 環 L を考へル。その積を $a \circ b$ ($a, b \in L$) を表すことが出来ます。

$$\sigma(\alpha x + \beta y) = \alpha \sigma x + \beta \sigma y$$

$$\sigma(x \circ y) = (\sigma x) \circ y + x \circ (\sigma y)$$

$$x, y \in L, \alpha, \beta \in k$$

ヲ満スル, linear transformation 7 derivation
トヨブ。

$a \in L$ トスレバ, Jacobi 1 恒等式ヨリ

$$a \circ (x \circ y) = (a \circ x) \circ y + x \circ (a \circ y)$$

トナルカラ, $x \rightarrow a \circ x$ ナル linear transformation
ハ derivation トナル。コレヲ L 1 inner derivation
トヨビ, Zassenhaus = ヲツテ, a デ表スコト=
ナル。

ニツノ derivation σ, τ カツタトキ, $\sigma \circ \tau$
= $\sigma \tau - \tau \sigma$ ト定義スレバ, コレ = ヲツテ derivation
ノ全体 $D(L)$ ハ k 上ノ Lie 環ヲツクリ, inner
derivation ノ全体 $I(L)$ ハ 1 ideal = ナル。¹⁾

初メ = 単單純環ノ derivation algebra ノコトヲ
シラベテ見マス。

(定理 I) L ヲ單單純 + Lie 環トスレバ, ソノ
derivation algebra $D(L)$ 1 subalgebra R

1) 吉田先生: A characterisation of the adjoint
representation of the semi-simple
Lie rings (Jap. Journ. 1938)

Zassenhaus: über Liesche Ringe mit
Primzahlcharakteristik (Abh.
Hamburg Bd. 13. 1939)

デ、 $I(L)$ フクムモ、ハ、スベテ準単純デアル。特= $D(L)$ ハ準単純デアル。

(証) $R \ni D(L)$, subalgebra, $R \supseteq I(L)$ トスル。 R ノ solvable ideal A フトル。 $A \cap I(L)$ ハ $I(L)$ ノ solvable ideal デアリ、 $L \cong I(L)$ デアルカラ、 $A \cap I(L) = 0$ 。 $A \circ I(L) \subseteq A \cap I(L)$ ナル故 $A \circ I(L) = 0$ 。

従ツテ $\sigma \in A$ トスレバ、任意ノ $x \in I(L)$ = 對シテ $\sigma \circ x = 0$ 、シカルニ $\sigma \circ x = \underline{\sigma x}$ デアルカラ、²⁾ スベテ $x \in L$ = 對シ、 $\underline{\sigma x} = 0$ トナルカラ、 $\sigma x = 0$ 。 $\sigma = 0$ コレハ $A = 0$ ナルユトヲ示ス。 従ツテ R ハ準単純デアル。

f. e. d.

(定義) スベテノ derivation σ = 對シ、invariant + L ノ submodule $\neq L$ ノ characteristic ideal トヨブ。

Lie 環 L ガ $L \circ L = L$ フ満足スルトキ vollkommen トイフ。

(定理 2) L ガ vollkommen デ、且ツ γ ノ centrum = 0 トスレバ、 γ ノ derivation algebra $D(L)$ = 於テハ、 $I(L)$ フクム subalgebra, derivation $\wedge D(L)$ ノ inner derivation = 擴張出来ル。 特= $D(L)$ ノ derivation ハスベテ

2) cf. 1)

inner である。

(証)

$R \supseteq I(L) \ni D(L)$, subalgebra トスル。 R
 / 任意 / derivation E トスル。 L , centrum = 0
 + 故, $L \cong I(L)$ である。 $I(L)$ は R , vollkommen
 + Ideal = + 故 \Rightarrow characteristic である。⁴⁾

故 = $E \wedge I(L)$, de $\quad \bar{E}$ \ni induce スル。

$L \cong I(L)$ + 故 トヨリ, 任意 / $x \in L$ = 對シ

$$\begin{array}{ccc}
 L & \xrightarrow{\quad} & I(L) \\
 x & \longleftrightarrow & \underline{x} \\
 \varepsilon \downarrow & & \downarrow \bar{\varepsilon} \\
 \varepsilon x & \longleftrightarrow & \bar{\varepsilon} x
 \end{array}$$

$\underline{\varepsilon} x = \bar{\varepsilon} x$ ト + 故 + εx が一意的
 = 存在スル。
 ヲ示スルバ, $x \rightarrow \varepsilon x$ + 故 對應ハ
 L , derivation = + 故。 ス + ハテ
 $\varepsilon \in D(L)$

ε が $D(L)$ = 於テ induce スル inner derivation

ヲ $\underline{\varepsilon}$ トシ $E - \underline{\varepsilon} \Rightarrow \tilde{E}$ トオケ。

$$\begin{aligned}
 (E - \underline{\varepsilon}) \underline{x} &= E \underline{x} - \underline{\varepsilon} \underline{x} = \bar{\varepsilon} \underline{x} - \varepsilon \circ x \\
 &= \underline{\varepsilon} x - \underline{\varepsilon} x = 0
 \end{aligned}$$

故 = スバテ / $\underline{x} \in I(L)$ = 對シ $\tilde{E} \underline{x} = 0$

$\eta \in R$ トスル。

$$0 = \tilde{E}(\eta x) = \tilde{E}(\eta \circ x) = (\tilde{E} \eta) \circ x + \eta \circ (\tilde{E} x)$$

3) Zassenhaus P. 52 = ハ $D(L)$, derivation がス
 ベテ inner = + 故 トガケが書イテアル。

4) Zassenhaus P. 52.

$$= (\widetilde{E}\eta) \circ x = (\underline{E}\eta) x$$

だから、スベテ $x = \text{null } (\widetilde{E}\eta) x = 0$ 従って $\widetilde{E}\eta = 0$ と
 ナハチ R デハ $E = \underline{E}$ トナツテホル。 *q. e. d.*

(定理 3) L フ準単純デ、単純環ノ直和ニナツテホ
 ルトスル。ソウスレバ $R \cong I(L)$ ナル $D(L)$ ノ *subalgebra*
 R ハ定理ノコリ準単純デハアルガ、 $I(L)$ ハ R ノ *maximal*
*fullreducible*⁵⁾ *ideal* デ、 R ガ $I(L)$ ヨリ、本當
 ニ大キイ場合ハ *fullred.* ニナラヌ。シカシ、 R ノ *ideal*
 ハスベテ準単純デアアル。

(証)

$L \cong I(L)$ ナル故、 $I(L)$ ガ *fullred.* ナルコトハ明カ
 デアル。 $I(L)$ フ含ム R ノ *fullred. ideal* A ガアルトス
 レバ、 $I(L)$ ハ A ノ直和因子トナル。 $\therefore A = B + I(L)$ 。
 $B \cap I(L) = 0$ ナル故、前ト同様ニシテ、 $B = 0$ 従ツテ
 $A = I(L)$ トナル。

次ニ R ノ *ideal* ガスベテ準単純ナルコトヲイフ。 A
 フ任意ノ R ノ *ideal* トスル。 $I(L) \supseteq A$ ノトキハ $I(L)$
 ガ *fullred.* ナルコトヨリ明カデ、又 $I(L) \cap A = D = 0$ ノ
 トキハ、 $A = 0$ トナルカラ、 $D \neq 0$ 、 $A \not\subseteq I(L)$ トシテ証明
 スル。 $I(L)$ ハ *fullred* ナル故、 D ハ $I(L)$ ノ直和因子ト
 ナル。

5) 以後可換ナラザル単純環ノ直和ニナル環ノコトヲ *full-*
red トヨブコトニスル。

$I(L) = B + D$ シカル = B の明カ = *vollkommen*
 だが $I(L)$ は *ch. ideal* ではない, $I(L)$ が *ideal* だが.
 R は *ideal* となる。

D は *centralisator*⁶⁾ $Z(D)$ となる。 $B \circ D = 0$
 だが $B \subseteq Z(D)$ ではないから

$$B \subseteq Z(D) \cap I(L)$$

シカル = $D \cap Z(D)$ は R の可換な *ideal* ではないから、

$$D \cap Z(D) = 0$$

従って $(I(L) \cap Z(D)) \cap D = 0$ 故 =

$$(I(L) \cap Z(D), D) = (I(L) \cap Z(D)) + D$$

$$(I(L) \cap Z(D), D) \subseteq I(L) = B + D \\ \subseteq (I(L) \cap Z(D)) + D$$

となる故

$$I(L) = (I(L) \cap Z(D)) + D \quad B \subseteq I(L) \cap Z(D)$$

より

$$B = I(L) \cap Z(D)$$

となる。

$$B \cap A = I(L) \cap Z(D) \cap A = (I(L) \cap A) \cap Z(D) \\ = D \cap Z(D) = 0$$

となる故 $(B, A) = B + A$, $(B, A) \subseteq (I(L), A)$ だが

$$I(L) = B + D \subseteq B + A, A = B + A$$

となる故

$$(I(L), A) = B + A \text{ となる。}$$

6) $x \circ D = 0$ となる x は A 全体ではない。 x は R の *ideal* となる。

故=、 A , ideal $\wedge (I(L), A)$, ideal トナルガ、
 $(I(L), A) \neq I(L)$ ハ定理 1 = ヨリ、準單純ナレ故、 A
 モ準單純デナケレバナラナイ。 q. e. d.

§2. 次=、上=マツタコトノ逆ヲ考ヘテ行クコトニシ
 マス。

group 1 場合=、Fitting が同ジマツナコトヲマツ
 テ居リマスガ (Fitting: Beiträge zur Theorie
 der Gruppen von endlichen Ordnung,
 Jahresbericht D. M. V. Bd. 48) Lie 環ノ場
 合=ハ、準單純環ノ ideal ハ準單純=ナラナイカモシレ
 ナイノデ、假定=入レテマラネバナリマセン。

先ツ、初メ=準單純+ L ノ minimal ideal が
 スベテ準單純デアルト假定シマス。コノ假定+ ν =次ノ
 Lemma が成立ツ。

(Lemma 1)

任意ノ準單純環 L ノニツノ ideal A, B が full-
 reducible ナラ、ソノ和 (A, B) モ fullred. デアル。

(証)

定理 3 ノ証明ノトキト同様ニシテ、 $A \wedge B = D$,
 $A = A_1 + D$ トスレバ、 $(A, B) = A_1 + B$ ナルコトが証
 明出来ル。

$A_1 \in, B \in$ fullred. デアルカラ、 $(A, B) \in$
 fullred. デアル。

(定理4) *minimal ideal* が準単純ideal
 やうな準単純環 L の唯一の 0 でない、*maximal full-
 red. ideal* S がある。この S は *characteristic ideal*
 である。

(証) *max. fullred. ideal* が二つあったら
 シ、それら A, B とすれば、この和は Lemma 1 により
fullred. であるから、唯一 = 限ることがわかる。且つ
 この S は、勿論 *vollkommen* であるから、*Characte-
 ristic* である。* = 0 でないことである。

L の *min. ideal* A がある。(A は *vollkom-
 men* であることはいはれぬ)。

A の任意の *ideal* B がある。 $B \circ B = B$ であるた
 ら、 B は *vollkommen* である。故に A は *ch. ideal* である。
 A が *ideal* であるから、 L の *ideal* であるから、

$B \supseteq B \circ B$ 。同様にして $B \circ B \supseteq (B \circ B) \circ (B \circ B) \dots$
 シタガッタ、 B は可解であるから、 A が準単純なことより
 $B = 0$ 。従って A は単純である。 $A \subseteq S$ であるから、 $S \neq 0$ 。
 f. e. d.

$S = S_1 + \dots + S_n$ と単純環の直和であることより
 S_i が可換であることより *vollkommen* であるから。
 前のやうに S_i は L の *minimal ideal* であることが
 わかる。逆 = *min. ideal* へ上 = 証明した如く単純であ
 るから、 S は実の *min. ideal* の sum であり、従
 って L の *Socket* (Loewy, Hompositionsreihe

ノ一番最後ノモノ) ト一致スルコトガワカル。故ニコレカラ
上、 $S \supseteq L$, *Socket* トヨブコトニスル。

定理4ノ條件ノ下ニ

(Lemma 2) L ノ*Socket* S ノ*centralisater* $Z(S)$ ガ準単純デアルト假定スル。ソウスレバ
 $Z(S) = 0$ トナルコトガイヘル。

(証)

$S \cap Z(S)$ ハ可換+*ideal* ガカラ、 $S \cap Z(S) = 0$ 。
故ニ $(S, Z(S)) = S + Z(S)$

$Z(S)$ ノ*min. ideal* A ヲ考ヘルト、 $Z(S)$ ガ準
単純トイフコトカラ、 A ハ*vollkommen*。従ツテ
 $Z(S)$ ノ*ch. ideal* ナ、従ツテ L ノ*ideal* ニナル。
勿論 A ハ L ノ*min. ideal* ガカラ、假定ヨリ準単純トナ
ル。

定理4ヲ $Z(S) = 0$ ニツカヘバ、 $Z(S) \neq 0$ ナラ、 0
デナリ *Socket* S' ガアル。 $S + S'$ ハ*fullred.* ニナ
ルカラ、 $S + S' = S$, $S' = 0$ トナラネバナラナイ。従ツテ
 $Z(S) = 0$ トナラネバナラナイ。

(定理5) L ガ準単純トシ、 L ノ*min. ideal* 及
ビ *Socket centralisater* ガ準単純トスル。ソウス
レバ、 L ハ*fullreducible* + *Lie* 環ノ*derivation*
*algebra*ノ*inner derivation*ヲスベテフクム様ナ
*subalgebra*ト*isomorph*デアル。

(証) L ノ*Socket* S ハ 0 デナリ、*fullred.* ナ

アル。

$a \in L = \text{對シ}$ 、 S / derivation $\bar{a} : x \rightarrow a \circ x$
($x \in S$) ヲ對應セシメルト、コレヨリ L 八 $D(S)$ /
 $I(S)$ ヲフクムヌヲナ subalgebra $\bar{L} = \text{homomorph}$
 $= \text{abbilden}$ サレルガ、Lemma 2ヨリ 實ハ isomorph
 $=$ ナルコトガワカル。

定理 3ト組合セテ

(系 1) L / min. ideal 及ビ Socket , centralisater が準單純デアレバ、 L / スベテ / ideal 八準單純デアアル。

(系 2) 準單純環 L デ、 \forall / ideal ガスベテ準單純デアルタメ、必要且ツ十分ナル條件ハ、 L ガ fullred. ナ環 / $\text{derivation algebra}$ / inner ヲスベテフクム subalgebra ト isomorph トナルコトデアアル。

今ト同様ニ、 L / min. ideal 及ビ Socket / centralisater が準單純ト假定スル。Socket S 八 ch. ideal デアルカラ、 L / 任意 / derivation $\sigma = \text{對シ}$ 、 $\sigma S \subseteq S$ トナルカラ、定理 5 / 証明ニ於ケルト同様ニ、 $\sigma = \text{對シ}$ σ が S = 於テ induce スル derivation $\bar{\sigma}$ ヲ對應サセルト、 $D(L)$ 八 $D(S)$ / $\text{subalgebra} = \text{homomorph}$ = ヲツルガ、實ハ $\text{isomorph} =$ ナル。何者、 $0 = \text{對應}$ スル $D(L)$ / ideal ヲ A トスレバ定理 5 / 對應ガ isomorph ナルコトヨリ $A \cap I(L) = 0$ コレヨリ $A = 0$ が出ル。 $D(L)$ / Bild ヲ $\overline{D(L)}$ デ表ハス。

$\bar{\sigma} \in \overline{D(L)}$, $\bar{a} \in \bar{L} = \overline{I(L)}$ トスレバ,

$$\begin{aligned}(\bar{\sigma} \circ \bar{a})x &= \bar{\sigma}(\bar{a}x) - \bar{a}(\bar{\sigma}x) = \sigma(a \circ x) - a \circ (\sigma x) \\ &= (\sigma a) \circ x = (\overline{\sigma a})x\end{aligned}$$

＋ル故

$$\bar{\sigma} \circ \bar{a} = \overline{\sigma a} \in \bar{L}$$

ス＋ハチ $\bar{\sigma} \in \bar{L}$, normalisater⁷⁾ $N(\bar{L}) =$ 属スル。

逆 = . $\varepsilon \in N(\bar{L})$ トスレバ、任意、 $\bar{a} \in \bar{L} =$ 對シ、
 $\varepsilon \circ \bar{a} \in \bar{L}$ ナカラ $\bar{b} = \varepsilon \circ \bar{a} + \nu b \in L$ カ一意的 = 存在スル。
 $b = \varepsilon' a$ トオク。

ス＋ハチ $\overline{\varepsilon' a} = \varepsilon \circ \bar{a}$ ヲツスレバ

$$\begin{aligned}\overline{\varepsilon'(a \circ b)} &= \varepsilon \circ \overline{(a \circ b)} = \varepsilon \circ (\bar{a} \circ \bar{b}) \\ &= (\varepsilon \circ \bar{a}) \circ \bar{b} + \bar{a} \circ (\varepsilon \circ \bar{b}) \\ &= \overline{\varepsilon' a} \circ \bar{b} + \bar{a} \circ \overline{\varepsilon' b} = \overline{\varepsilon' a \circ b + a \circ \varepsilon' b}\end{aligned}$$

＋ル故

$$\varepsilon'(a \circ b) = (\varepsilon' a) \circ b + a \circ (\varepsilon' b)$$

ス＋ハチ $\varepsilon' \in L$, derivation ナリ、 $x \in S =$ 對シテハ $\overline{\varepsilon' x} = \underline{\varepsilon' x}$ (ス＋ハチ $\overline{\varepsilon' x} \in S$, inner derivation)
＋ルコトハ定義ヨリ明ナリ。

$$\overline{\varepsilon' x} = \varepsilon \circ \overline{\varepsilon' x} = \varepsilon \circ \underline{\varepsilon' x} = \underline{\varepsilon' x} = \overline{\varepsilon' x} \rightarrow \varepsilon' x = \varepsilon x$$

ス＋ハチ $\overline{\varepsilon'} = \varepsilon$ ナリ。故 = $\varepsilon \in \overline{D(L)}$ 。

ス＋ハチ $\overline{D(L)} \in \bar{L}$, normalisater ト一致スル。
従ツテ

7) $x \circ \bar{L} \subseteq \bar{L} + \nu x$, 全体ヲ \bar{L} , normalisater トヨブ。

(定理6)

準単純環 L , *max. ideal*, 及び *sockel*, *central isater* が準単純デアルト假定スル。ソウスレバ, L は *fulreducible* + *Lie* 環 S , *derivation algebra* $D(S)$, $R \cong I(S)$ + *subalgebra* + *isomorph* 二ナルガ, コノトキ $D(L)$ ハ $R / D(S) =$ 於ケル *normalizer* $N(R)$ + *isomorph* 二ナル。

上ノ証明ノ系トシマシテ

(系) 上ノ同ジ條件ノ下デ, L ノニツノ *derivation* σ , テガソノ *sockel* S ノスベテノ元 $x =$ 対シ $\sigma x = \tau x$ ナラ $\sigma \equiv \tau$ デアル。

$\sigma =$ *sockel*, *derivation* ガスベテ L ノ *derivation* = 拡張出来ルトスレバ, $\overline{D(L)} = D(S)$, スナハテ \overline{L} ハ $D(S)$ ノ *ideal* 二ナリ, 更ニ L ノ *inner derivation* = 拡張出来ルトスレバ, 上ノ系ヨリ, \overline{L} ノ *derivation* ハスベテ *inner* デアルコトガワカル。

従ツテ, $\overline{L} = D(S)$ トナル。

前ニヤツタコトト一緒ニスレバ

(定理7)

準単純環 L が *fulreducible* + 環ノ *derivation algebra* + *isomorph* 二ナルタメノ必要且ツ十分ナル條件ハ

1) L ノ *ideal* ハスベテ準単純デ,

2) L ノ *sockel*, *derivation* ガスベテ L ノ

inner derivation = 拡張出来るコトデアル。

§3. Zassenhaus へ上記論文 80頁次ノ三ツノ Vermutung を述べ居リマス。

1) 可換デナイ單純環 L ノ outer derivation algebra $D(L)/I(L)$ ハ可解デアル。

2) スベテノ可換デナイ charakteristisch einfach + Ring へ Charakteristik p ノトキ、 einfach + algebra, p -Potenz ring = ナル。

3) L ヲ可換デナイ、 charakteristisch einfach ナ環トスレバ $D(L)/I(L)$ ハ可解デアル。

(案ハ 1) 2) ヨリ 3) が出ルコトが書イテアリマス)

更ニ 2) 3) ヨリ次ノコトヲ結論シテ居リマス。

4) vollkommen + 準單純環ハ可換デナイ單純環ノ直和 = ナル。(P. 80, Satz 8)

トコロガ Jacobson へ Classes of restricted Lie algebras of characteristic p . I (American Journal Vol. LXIII 1941) 中 1) = 対スル反例ヲ示シテ居リマス。ソウスレバ勿論 3) モ一般ニ成立タヌワケデスガ、コトヲ 4) モ案ハ一般ニ成立タヌコトヲ言ヒマス。

ソノタメニハ 4) が正シイトスレバ 1) モ正シイコトヲ証明スレバ十分ナワケデス。4) が成立シテ 1) が成立シテ

トスル。ソウスレバ可換デナイ單純環 L ガアッタ。

$D(L)/I(L) = K$ ガ *solvable* デナイ。

$$A^0 K = K, AK = K \circ K, A^2 K = A(AK) = (K \circ K) \circ (K \circ K) \dots$$

$$A^i K = A(A^{i-1} K) = A^{i-1} K \circ A^{i-1} K$$

トオク。(A: *Ableitung*)

$K \supseteq AK \supseteq A^2 K \supseteq \dots$ デ、 K ハ *solvable* デナイ

カラ、 i ガアッタ

$$A^i K = A^{i+1} K = \dots \neq 0$$

トナル。

$$N \text{ カル} = A^i K = A^i (D(L)/I(L)) = A^i D(L) + I(L) / I(L)$$

デアアルカラ

$$N = A^i D(L) + I(L) = A^{i+1} D(L) + I(L) = \dots$$

$N \not\subseteq I(L)$ デアル。

$$AN = A(A^i D(L) + I(L)) \supseteq A^{i+1} D(L) + AI(L)$$

$$= A^{i+1} D(L) + I(L) = N \quad (\because AI(L) = I(L))$$

ナル故、 $AN = N$ スナハチ N ハ *vollkommen* デアル

ガ $N \not\subseteq I(L)$ デカラ、定理3 = ヨリ單純環デシカモ、單純

環ノ直和 = ナラナイ。コレハ矛盾デアアル。